

【SS (サービスステーション)】

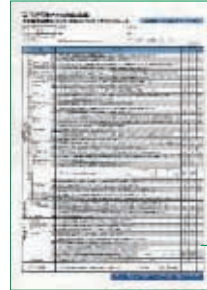
■SS環境リスクマネジメント

環境管理ポイント (EMポイント) の数値評価で、SSの環境リスクマネジメントを行っています。

✦環境管理ポイントの導入

2003年4月より、SS販売促進プログラム「NAVI2003」の評価指標の一つとして、「漏洩対策管理」や「設備点検」、「産業廃棄物対策管理」などに関する「環境管理ポイント (EMポイント)」を導入し、SSの環境リスクマネジメントを行っています。

2003年度に特約店のSSを含む約5,000ヵ所のSSを対象として、EMポイントによる評価を上期と下期の2回行いました。その結果、上期に対し下期では、回収率、得点ともに改善しました。今後にも必要な指導を行い、管理の改善を図っていきます。

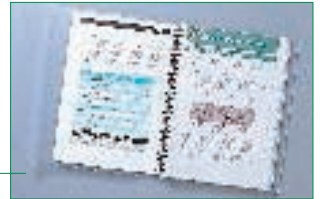


SS環境管理ポイント (EMポイント) チェックシート

✦啓発活動の実施

SSの環境管理を行うためのツールなどをもとに、環境フォーラムを8ヵ所、リスクマネジメント研修を8ヵ所で実施するとともに、啓発ビデオの作成、配布を行いました。

また、従来利用していた「SS施設安全点検記録帳」に「環境マネジメントマニュアル」を追加しました。さらに、油漏洩の早期発見と土壌汚染の未然防止を目的として、石油連盟が作成した「SS土壌環境セーフティーブック」を利用しています。



SS施設安全点検記録帳

✦社有の地下タンク検査の実施

2002年度より、法定点検に加えて、自主的に地下タンクの検査を開始しました。現在までに、社有の大部分のSS (約900ヵ所) について検査を行い、その検査結果に基づき、設備補修など必要な対応を行っています。

■環境調和型SS

SSの環境対応を推進し、環境と調和した先進的なSSづくりを進めています。

✦ソーラーパネルの設置

2003年度に、新たに4ヵ所のSSにソーラーパネル (太陽光発電システム) を設置し、合計25ヵ所のSSでソーラーエネルギーを使用しています。



SSソーラーパネル



※2炭化水素ベーパー

ガソリン・ベンゼン・トルエンなどの炭化水素の蒸気。油槽所・ローリー積場・化成物流通基地などから、大気中に放散されるケースが多く、光化学スモッグや悪臭を発生させる原因の一つに数えられています。

✦炭化水素ベーパー回収装置の導入

炭化水素ベーパー※2 (蒸気) の拡散を抑えるため、SSでの炭化水素ベーパー回収装置の設置を進めています。当社所有の約50%のSSに設置済みとなっています。

■ベーパー回収のしくみ

